

5 授業研究と協議会④〈12月校内授業研修会〉

地歴科【日本史B】学習指導案

日 時 令和元年12月11日(水)
対象クラス 2年C組
使用教科書 詳説日本史(山川出版社)
授業者 後藤弘康

1 単元名 テーマ学習

共通テストに向けて～平治物語絵巻と皇位継承を例にして～

2 単元の目標

来年度から導入予定の共通テストは、資料(史料)を読み取り、知識を活用して答える問題が多い。従来の史料問題とは違う視点で問われることが多いため、グループ学習の形式で協議し、問題の意図を理解することができる。

また、与えられた史資料や既習知識から、当時の時代背景や人間関係を考察し、答えを導き出すことができる。

3 単元の評価規準

【A】関心・意欲・態度	【B】思考・判断・表現	【C】資料活用の技能	【D】知識・理解
与えられた史資料を読み、文意をくみ取り、グループで協議して問題を解こうとしている。	既習事項である飛鳥時代・鎌倉時代の事件や事象をもとに、史資料を読み解きながら判断し、他グループにわかりやすく説明できる。	問われていることに対し、史資料を的確に活用することができる。	知識として既習の用語や事件・事象を理解しているばかりではなく、その知識を活用できている。

4 生徒観

男子6名、女子9名、計15名の選択クラスである。日本史への興味関心が高い生徒が多く積極的に授業に臨む姿勢が見られる。授業内容の理解力は総じて高いが、共通テストレベルの応用問題には対応できていない。生徒の興味や関心を深め、自ら主体的に学習に取り組む姿勢を育てる授業を展開していきたい。

5 指導観

普通の授業では、一つの史資料や絵巻物をクローズアップして展開することはない。しかしながら資料集を使い、極力史資料に触れることを心がけている。共通テストでは会話文や史資料・絵巻物等から、既習事項の知識を活用し答える問題が多い。教科書本文を読み込むことに加えて、史資料に慣れることで、知識の定着がはかれることを実感できるよう指導したい。

6 指導計画(全 1 時間)

平治物語絵巻・皇位継承

1時間(本時)

7 本時の評価規準

問われていることに対して与えられた史資料を的確に活用し、自分の考えをまとめることができる。

【B】【C】

8 本時の計画

(1) 本時のねらい

- ①「平治物語絵巻」から鎌倉時代の武士について読み取ることができる。
- ②「皇位継承」の史資料から、飛鳥時代の皇位継承の仕組みを理解することができる。

(2) 展開

段	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5	○本時の説明	○本時の目標と題材を確認する。	・「平治物語絵巻」・「皇位継承」の史資料について目標と題材を確認させる。	
展開 40	○平治物語絵巻 10分 ○皇位継承 30分	○会話文ア・イに入ることばを話し合う。 ○会話中の「武士の出現」について、グループの考えをまとめる(協議)。 ○「皇位継承」の史資料について正しい説明を選ぶ。(協議) ○崇峻天皇の暗殺について、当時の状況を判断する。 ○『日本書紀』の歌のやりとりから、推古天皇と蘇我馬子の関係を推察する。	・前後の文章から適切なことばを選ばせ、発表させる。 ・選択肢から、武士の出現について確認させる。 ・何を手がかりに答えを導き出すのか適切に助言する。 ・それぞれの史資料から何が明らかになるのかを助言する。 ・各班に解釈と答えを発表させる。解釈と解答の整合性をとらせる。	【B】 【C】
まとめ 5	○まとめ	○本時のまとめ	・教科書で頻出の史資料の読み方・関わり方についてまとめる。 ・まとめのシートを回収する。	